

障害に関することを描いた 子どもの本のリストNO.30

障害について描かれた子どもの本のリストは
NO. 30で累積1068冊の本を紹介しました

リストNO.30「はじめに」より抜粋

菊地 澄子

「障害と本の研究会」では、複数の研究活動を併行して行っています。それらの中で現在全員で力を入れているのは、「障害に関することを描いた子どもの本」を読んで紹介、それらを毎年リストに纏め、普及していく研究活動です。このリストの普及によって、社会の人々に障害に関する理解が広まり・深まり・共に学び合う資料になればと願っております。今年の夏には、このリストの「No30」を纏めることができました。No1～30に至るまでのリストには、1903年～2018年までの115年間の障害に関する子どもの本1068冊をリストアップし、紹介することができました。

国会図書館には、ガリ版印刷時代のNo1から現在まで、全てのNoが保管されています。近年は、全国あちこちの図書館や文庫、大学の教育学部などでの活用が始まっています。この現象は、研究会にとっては大変心強く、普及へ向けて一層頑張る元気をもらっております。とは言え、研究会のメンバーは、障害に関する子どもの本を読んで単に知識が豊富になり、やる気が湧いてくるだけではありません。この研究活動を通して、日常生活のなかで、自分自身の「障害観」や「人間観」を無意識のうちに育てさせてもらっているようです。

号数	ISBN	出版年	価格(円)	冊数	代金
NO.30	978-4-909346-03-2	2018	750		
NO.29	978-4-909346-02-5	2017	700		
NO.28	978-4-909346-01-8	2016	500		
NO.27	978-4-907628-56-7	2015	500		
NO.26	978-4-909346-00-1	2014	300		
合計					円



お名前

ご住所

☎

